

# ふれあい 夢 通信

7号

FUREAI YUME TSUUSHIN  
子どもを真ん中に、山口県の教育を考える

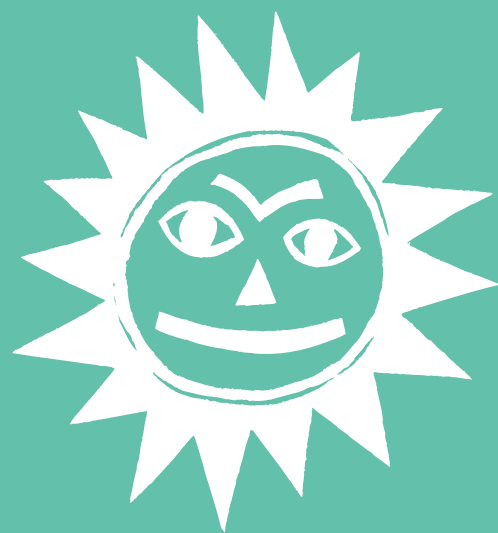
山口県教育庁教育企画室  
編集ホットライン TEL083・933・4531



## 特集

### 学校って楽しいね ～クラスに先生が二人～

山口県では、子どもたちが楽しい学校生活を送れるように、就学直後の重要な時期にある小学校1年生の多人数学級に、担任の先生をサポートする「もう一人の先生」を配置して、子ども一人一人に応じたきめ細かな指導を充実させる態勢づくりを進めています。



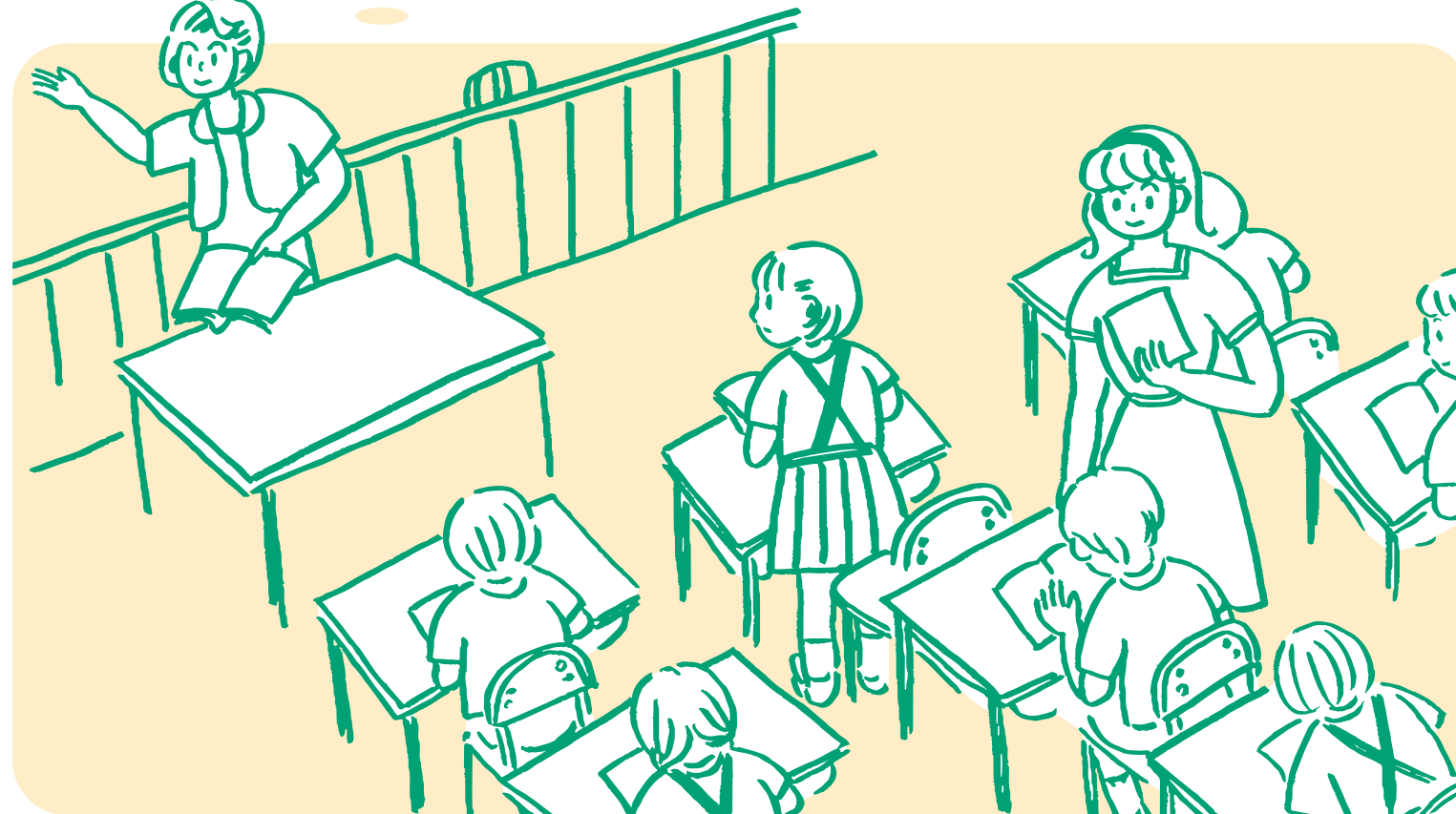
# 楽しい学び舎にするために



山口県では市町村と協力して、小学校1年生の36人以上の児童が在籍する全ての学級に、クラス担任をサポートする先生を、4月から原則として週3日(1日4時間)の勤務で配置しています。

これは、全国的にも先進的な取り組みで、平成13年度までの2か年間、重点的に実施するものです。

このことによって、小学校に入学したばかりの子どもたちが、新しい学校生活にスムーズに適応し、毎日生き生きと楽しく過ごせるようになることを願っています。



## 給食の時間では

先生と一緒に給食の準備をするのがとても楽しみです。



## 生活科の学習では

二人の先生と楽しく一緒に「春」を探します。



## 休み時間には

先生とたくさんお話をしたり、遊んだりします。



## 算数や国語などの学習では

先生がそばに来て、やさしく教えてくださいます。



## 朝の会・終わりの会では

いつも元気よく先生とあいさつをしています。



目内全ての小学校において、1年生の1クラス36人以上の学級に、担任の先生をサポートする先生が配置されて、およそ4か月が過ぎました。学校の先生・子どもたち・保護者の方々に、いろいろな声を聞いてみました。

## 担任の先生やサポートの先生は、どう思っているのでしょうか。

- 子どもたち一人一人に助言や支援する場がもてるので、細かく丁寧な指導ができるようになりました。
- 精神的に余裕をもって、子どもたちに接することができるようになりました。
- 給食や掃除の仕方など、分担して指導をすることができるので、大変助かっています。
- 教材作成のアイデア等を出し合えて効果的です。
- 教師を目指す私にとっては、補助教員として子どもと接することは、いろいろな面で貴重な体験になっています。



## 1年生の子どもたちは、どう思っているでしょう。

- 教室に先生が二人いて、うれしいです。先生が来てくれるのが、とても楽しみです。
- 困ったときやわからないとき、どちらかの先生にすぐ教えてもらえるのがいいです。
- いろいろなお話を聞いてもらえるので、とてもうれしいです。
- いろいろな遊びを教えられるので、楽しいです。

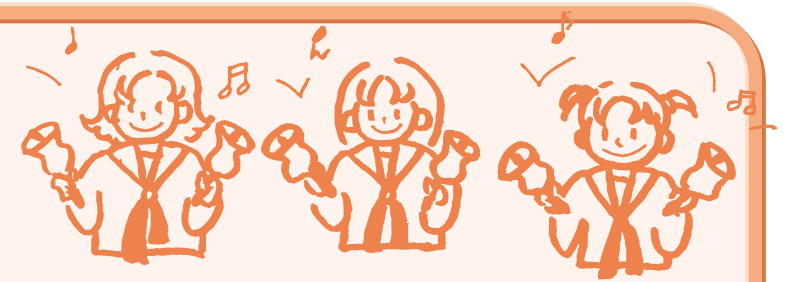


## 保護者の方々は、どう思っているのでしょうか。

- 参観日に、二人の先生の指導で子どもたちが楽しそうに学習している姿を見て安心しました。
- 多人数のクラスですが、子どもたち一人一人に細やかな指導をしてもらえるので、ありがたく思っています。
- 子どもがよく遊んでもらっているようで、家に帰って「学校は楽しいよ。」と言っています。



# ふれあい交差点 7



## 「春の女神」を育てよう

熊毛町立八代小学校

八代小学校では、絶滅の危機にある幻の蝶(ギフチョウ)の飼育に10年前から取り組んでいます。

毎年4月になると、3年生は、地域で



見て、きれいだよ

採取した小粒の真珠のような蝶の卵を4年生から受け取ります。子どもたちは卵からかえった幼虫にエサのカンアオイをやったり、フンの始末をしたり、熱心に世話をします。その間、指導や援助をしてくださるのは、「ギフチョウ博士」と呼ばれ親しまれている地元の田島実さんです。約2ヶ月後、幼虫はさなぎになり長い眠りに入ります。そして翌年の春、ギフチョウは「春の女神」として子どもたちの手



いよいよ、大空へから離れ大空に飛び立つのです。子どもたちは、ギフチョウの美しい姿に瞳を輝かせて、ふるさとや自然の大切さ、生命の神秘を直接肌で感じているようです。

## 21世紀とともに歌う 第1回音楽発表会

梅光女学院中学校

2001年に創立130周年を迎える梅光女学院には、幼稚園、中学校、高校、短大、大学があり、さまざまな学校行事を地域に公開しています。

3月には中学校の「第1回音楽発表会」を短大のスターチェスホールで開催し、素敵なスタンドグラスを背景に、ハンドベル演奏、リコーダーアンサンブル、合唱、そして1時間におよぶミュージカル「サウンドオブミュージック」を披露しました。手話を交え

たエーデルワイスの合唱の場面では、ステージと客席がひとつとなり、美しい歌声はホールいっぱい感動の渦を巻き起こしました。「すばらしい。生徒だけでこんなにやれるとは驚きだ。」といったうれしい



本番に備えて(ハンドベル)



歌声は心をつなぐ 感想も寄せられ、生徒たちはこの音楽会を来年もぜひ開催して、もっと多くの地域の方々に聴いていただき、さらに輪を広げていきたいと夢を語り合っていました。

## 未来の指揮者(子どもたち)と演奏家のふれあい

秋吉台国際芸術村



みなさん、マレットって知ってますか?

5月2日、東京フィルハーモニー交響楽団の首席チェリスト金木博幸さんら8名の演奏家を秋吉台国際芸術村に迎えて、レクチャーコンサート「秋吉台の響き」が開催されました。

参加した美祿高等学校と秋芳南中学校の生徒約50名は、目の前で奏でられる一流の演奏家の生の音楽に聴き入り、指揮者体験コーナーでは、生徒の希望者数名が実際にタクトを振り、ベートーヴェンの交響曲第5番「運命」にチャレンジしました。指揮者によって演奏が変わることを体験した生徒たちは、やや緊張しながらも満足気な様子でした。中には会場から笑いの沸き起こる場面もあり、終始楽しい雰囲気

の中で心温まるコンサートでした。秋吉台国際芸術村では、8月にもアメリカからバリー・ハリス外ジャズ界を代表するミュージシャンを指導者として迎え、中高生を対象に音楽創造のワークショップを開催します。



どんな演奏になるかな

# 地域の人に学ぶ

# 山口県の学校ではこんな取り組みをしています

## 小学校では

### 上関町立室津小学校 ～海藻調査隊～



「先生、心配なくてもいいよ」

室津小学校では、総合的な学習の時間に、地域の人たちの協力を得ながら、海や磯の生き物とのふれあいを通して自然の美しさを知り、生き物を慈しむ心を育てる活動を続けています。

この日の4年生の授業では、子どもたちは4つのグループに分かれ、地域の人やお母さんたちに教わりながら、白浜の磯で採取した海藻を使って、ところん・のり・標本・しおりを作りました。



「最後の手段、ドライヤー攻撃！」

のり作りのグループは、アオサを細かく刻むのに、危なっかしい包丁さばきで周囲をハラハラさせる場面もありました。また、当日はあいにく天候が悪く、子どもたちは板状にしたのりを乾燥させるのに一生懸命でした。

どのグループも、慣れないことばかりで悪戦苦闘の一日でしたが、海藻がいろいろなものに形をかえていく過程に興味津々の様子でした。



「ところんっておもしろ〜い」

こうした活動を通して、子どもたちの環境への関心が少しずつ高まり、地域への理解や郷土を愛する心が育まれることでしょう。



## 中学校では

### 川上村立川上中学校 ～漬け物の秘密～



「青梅はあまりにおいがないね」

川上中学校では「未来・夢へのアプローチ」というテーマに沿って、生徒一人一人が興味や関心をもっていることについて研究をしています。

6月の校外活動日に、漬け物に関する研究をしている生徒たちが地域の漬け物作りの名人を訪問して、漬け物の魅力や効能、おいしい漬け物を作る秘訣などを教わりました。漬け物は、まず丹精を込めて作った旬の野菜を使うことが一番大事だと聞いて、取れたての青梅に触ってみたり、畑へ行って瓜の栽培の仕方を教



「これが瓜の芽？」

わったりしました。昔に比べて、家で漬け物を作る人は少なくなりましたが、川上村では、特産品直売所で販売している漬け物の評判が良く、漬け物作りを始める人も増えているようです。



「みなさん、こんなことがわかりました」

漬け物作りの研究が、野菜作りや地域の特産品の話にまで及んだように、地域の人々との関わりの中で、生徒たちの研究は様々な分野へと広がっています。



## 高校では

### 県立厚狭高等学校 ～カラーを作る～



「先生のように上手に巻けません」

山口市のふるさと伝承センターから講師を招いて、厚狭高校服飾デザイン科の2年生が布を材料にした花作りを体験しました。初夏の花、白いカラーを作るということで、まず花卉、葉、茎になる布を染色しますが、白いカラーの花は、よく見るといろいろな色が微妙に入り混じっています。同様に、葉や茎も単純な緑色ではありません。生徒たちは、花を生き生きと見せるにはどのような色合いにすればよいかを考えながら仕上げていきました。



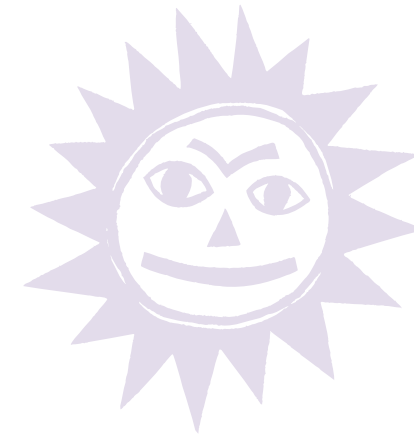
「なるほど、コテで葉脈を描くのか」

また、生徒たちの多くは、こよりを作った経験もなく、ワイヤーに紙を巻きつけて茎の芯を作る工程では、指先で紙をうまく巻くことができずに苦労していました。完成したカラーの花は、文化祭に出展する自作のウェディングドレスと一緒に飾ることにしています。



「自分の花をみつめながら…」

普段はにぎやかな生徒たちも、この授業では、憧れや様々な想いを胸に抱きながら、いつもより真剣な面持ちで取り組んでいるようでした。



「しょもないけど得意なことあるよね心配しないで！かならず役たつ時が来る。」

## ひと言

### もう一人の先生との出会い



山口短期大学  
特任教授  
田中稔穂

地域の人を先生に迎えて授業を行うことが、最近、各地で見られるようになりました。これから「総合的な学習の時間」が本格的に始まるようになれば、この動きはもっと加速されるものと思われます。

地域には、地域の伝統や文化に精通している人や農業・園芸業・製造業、あるいは茶道・華道・陶芸などを通して専門的な知見や技能を身に付けた人、さらに、人生経験豊かな高齢の人などさまざまな人がおられます。こうした、言わばもう一人

の先生との出会いは、ある意味でホンモノとの出会いであり、生きた知恵・わざとの出会いでもあります。

こうした出会いは、子どもたちの新鮮で豊かな学びを引き出すとともに、その学びに確かなリアリティ(真実性)を保障してくれるものと期待されています。

開かれた学校づくりのためにも、これらの取り組みを今後より一層進めていく必要があります。

## イベントカレンダー

7/14(金)～8/27(日)  
不思議体験 光のファンタジー

●県立博物館 ☎083-922-0294

8/3(木)～8/4(金)  
天体観測入門

対象/一般(小・中学生は保護者同伴)  
定員/各20名  
●県教育研修所 ☎083-987-1190

8/5(土)～8/7(月)

瀬戸内探検隊  
～無人島生活にチャレンジ!～

対象/小学6年生～中学3年生  
定員/30名  
●県大島青年の家 ☎08207-6-0913

8/8(火)～8/11(金)  
わんぱくチャレンジキャンプ  
～子どもだけのキャンプ体験～

対象/小学4年生以上 定員/40名  
●県光青年の家 ☎0833-72-5512

8/23(水)～8/25(金)  
あつまれ! 冒険kids

対象/小学5年生～中学3年生  
定員/60名  
●県秋吉台少年自然の家  
☎08396-2-0581

8/26(土)～8/27(日)  
おもいっきりマリンまるごと油谷湾

対象/子どもとその家族 定員/50名  
●県油谷青年の家 ☎0837-32-1000

9/9日(土)  
パワフルサタデイ クラフトでGO!

対象/一般 定員/30名  
●県石城山青少年宿泊訓練所  
☎0820-48-2108

9/9(土)～9/10(日)  
秋を先取り! 梨と星と草花と

対象/小・中学生とその家族 定員/40名  
●県秋吉台青少年宿泊訓練所  
☎0837-62-0106

テレビ家庭教育番組「はつらつ山口っ子」  
をKRY山口放送で毎週日曜日の午前  
7:30～7:45に放送しています。  
スケジュールは県のホームページでも紹  
介しています。  
<http://www.pref.yamaguchi.jp/gyosei/s-kyoiku/09.htm>

## 編集室から

「ふれあい夢通信」の内容を充実させるために、皆様からのご意見やご感想をお待ちしています。今後取り上げたいテーマなどがありましたら、教育企画室までお知らせください。

山口県教育庁教育企画室  
住所 〒753-8501 山口市滝町1-1  
電話 083-933-4531  
ファックス 083-933-4539  
電子メールアドレス fureaiyu@ce.mbn.or.jp



7/25日(火)～9/3(日)  
ホノルル美術館展

～ヨーロッパ・アメリカ近代絵画の100年～  
親と子の美術鑑賞講座が7/29(土)、30(日)の13:30から開催されます。学芸員の説明を聞きながら名作を鑑賞してみませんか。

●県立美術館  
☎083-925-7788

7/29(土)～9/3(日)  
六大浮世絵師名品展

8/16(水)、こどものためのギャラリー・ツアーが午前と午後の2回、開催されます。申込みは8/1(必着)までに往復はがきで。(15組程度。受付先着順)

●県立萩美術館・浦上記念館  
☎0838-24-2400



9/9(土)～9/10(日)  
大きな栗の木の下で

～秋・山と空と家族のふれあい～

秋空の下で、家族そろって栗拾いを楽しみませんか。夜は秋の星座ウォッチング。流れ星も見えるかな。

対象/家族 定員/50名

●県十種ヶ峰青少年野外活動センター  
☎08395-8-0033

9/30(土)～10/1(日)  
維新史回廊探訪ツアー(萩往還)  
の参加者募集

維新史回廊の一つである萩往還を中心に、徒歩での散策や歴史講話などを交えながら、維新ゆかりの地をたどる一泊二日のバスツアーを開催します。

出発地/県内6ヶ所(下関、萩、山口、防府、徳山、岩国)。萩城跡にて出陣式。

宿泊地/県セミナーパーク(山口市)

対象/中学生以上

募集人員/約160名

参加費/8千円

応募期限/9月5日(火)

●維新史回廊構想推進協議会  
(県文化振興課内)

☎083-933-2627 FAX083-933-4829

## 子どもの相談窓口

- ふれあい教育センター  
「ふれあいテレホン」☎083-987-1240  
「いじめ相談専用電話」☎083-987-1202  
「ふれあいFAX」FAX083-987-1258
- 山口県教育庁  
「すくすくテレホン」☎083-932-7888  
「山口県家庭教育カウンセラー」  
☎083-933-4630  
「いじめ110番」☎083-923-2264

- 山口県中央児童相談所  
「おやこほっとライン」☎083-932-3939
- 山口県警察本部少年課  
ヤングテレホンやまぐち ☎083-925-5150  
東部少年サポートセンター ☎0827-23-5150  
中部少年サポートセンター ☎083-925-5150  
西部少年サポートセンター ☎0832-22-5150
- 山口県地方務局人権養護課  
「子どもの人権110番」☎083-920-1234